



さくらっこ!



戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指 検索



目次

P. 1…根性とガッツ / P. 2・3…戸塚区内の各地区紹介!
P. 4…令和4年度青少年防災対応力強化研修の実施報告 / 2022年度 下期行事・2023年度 上期行事予定



根性とガッツ

人に対して使われる言葉としては同じですが、あくまでイメージとして「根性」には誰かから強いられて、より努力させようとするような悲壮感があり、「ガッツ」には自ら奮い立って立ち向かった結果に対して投げかけられるような爽快感を感じます。

行動する本人の「やる気」やモチベーション(動機づけ)を誰が起こすか・起こさせるかの違いかも知れませぬ。

<外的動機づけと内的動機づけ>

勉強やスポーツ、様々な習い事を通して子どもたちは成長していきます。

テストで良い点を取って褒められたり、大会で優勝して人気者になったり、その活動への他者からの評価が頑張ることに繋がっている場合があります。自分の外からの力によって「やる気」が出ているので「外的動機づけ」と言います。

また、その勉強やスポーツそのものが好きで、自己満足かも知れませんが他者からの評価があってもなくても頑張っている場合もあります。自分の内から出ている「やる気」なので「内的動機づけ」と呼びます。

<外的と内的、どっちが大切?>

一般的には、最初は親が子どもに勉強やスポーツ、習い事をさせて頑張らせ、上手くいけば「褒める」という報酬を与えて「やる気」を促します。「外的動機づけ」が先になることが多いようです。

子どもによっては、それがきっかけとなってそのもの自体が好きになり、報酬がなくても「やる気」が継続する場合があります。「内的動機づけ」への変化です。

ですから、継続するには「内的動機づけ」が望ましいですが、そうなる過程として「外的動機づけ」も重要な役割を持つことも多いので、どちらの「動機づけ」も大切です。

<目標は誰が決めた?>

「外的動機づけ」の場合は、その目標を親や周りが決めることが多くなります。

逆に「内的動機づけ」の場合は、目標は自分で決めることとなります。

「オリンピックで金メダルを取る」「〇〇大学に入る」「△の仕事に就く」など同じ目標でも、誰が決めたのかによって違いが出てきます。

前者は報酬のあるうちは良いですが、失敗や挫折感を味わうと「やる気」が消失していくことがあります。しかし、周りが決めた目標ですから嫌でも頑張らなくてはならないという使命感があり、その努力は苦しみを生み出します。「根性」で耐えなければと周りに励まされ頑張ります。

後者はあまり報酬に関係がないので、失敗が新たな目標に繋がります。周りも本人が「ガッツ」でぶつかって行ったことを称賛します。

<親の見極めが肝心>

親は我が子に様々な期待を持ち、目標を掲げます。しかし、その目標は親の目標なのか、子ども自身の目標になっているのかを、しっかりと見極めることが重要です。

嬉し涙や悔し涙に感動しても、「泣きながら頑張る姿」に感動し過ぎないようにしましょうね。目標に向かって楽しんで努力している姿が望ましい姿です。

叱咤する「根性」より称賛の「ガッツ」です

